



Sun Java System Portal Server Mobile Access 7.1 配備計画ガイド



Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 820-1267
2007 年 3 月

本書で説明する製品で使用されている技術に関連した知的所有権は、Sun Microsystems, Inc. に帰属します。特に、制限を受けることなく、この知的所有権には、米国特許、および米国をはじめとする他の国々で申請中の特許が含まれています。

U.S. Government Rights – Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本製品には、サードパーティーが開発した技術が含まれている場合があります。

本製品の一部は Berkeley BSD システムより派生したもので、カリフォルニア大学よりライセンスを受けています。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびにほかの国における登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴマーク、Solaris のロゴマーク、Java Coffee Cup のロゴマーク、docs.sun.com、Java、Solaris は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。Sun のロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPEN LOOK および SunTM Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカルユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK GUI を実装するか、または米国 Sun Microsystems 社の書面によるライセンス契約に従う米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

この製品は、米国の輸出規制に関する法規の適用および管理下にあり、また、米国以外の国の輸出および輸入規制に関する法規の制限を受ける場合があります。核、ミサイル、生物化学兵器もしくは原子力船に関連した使用またはかかる使用者への提供は、直接的にも間接的にも、禁止されています。このソフトウェアを、米国の輸出禁止国へ輸出または再輸出すること、および米国輸出制限対象リスト (輸出が禁止されている個人リスト、特別に指定された国籍者リストを含む) に指定された、法人、または団体に輸出または再輸出することは一切禁止されています。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われないものとします。

目次

はじめに	5
1 配備手順の開始	13
Mobile Access ソフトウェアの機能	13
配備のロードマップ	14
配備のアーキテクチャーと設計	15
コンポーネントソフトウェアのインストールと設定	15
コンポーネントのパフォーマンスチューニング	15
Mobile Access ソフトウェアの設定	16
製品の参照情報	16
インストールリソース	17
管理リソース	17
開発リソース	17
2 Mobile Access 要件の分析	19
業務および技術上の要件の確認と評価	19
業務上の目的	20
技術上の目標	20
ユーザーの行動様式	21
パフォーマンスと能力	21
フロントエンドシステム	22
成長の予測	22
認証と安全なアクセス	22
チャンネル	23
品質目標	23
業務のニーズへのモバイルポータル機能の対応付け	24
動的レンダリングエンジン	24

VoiceXML のサポート	24
JSR 188 (CC/PP)	25
安全なリモートアクセス	25
3 Mobile Portal 評価ワークシート	27
業務上の目的	27
技術上の目標	28
ユーザーの行動様式	28
パフォーマンスと能力	29
フロントエンドシステム	29
成長の予測	30
認証と安全なアクセス	30
チャンネル	31
品質目標	31
4 ディレクトリ構造と設定ファイル	33
ディレクトリ構造	33
設定ファイル	35
5 用語集	37
参照情報	37
索引	39

はじめに

このマニュアルでは、Sun Java™ System Portal Server Mobile Access 7.1 (旧称 Sun™ ONE Portal System, Mobile Access) ソフトウェアリリースの配備を計画する方法について説明します。この章は、次の節で構成されています。

- 5 ページの「対象読者」
- 5 ページの「お読みになる前に」
- 6 ページの「このマニュアルの内容」
- 6 ページの「このマニュアルで使用する表記規則」
- 8 ページの「関連マニュアル」
- 9 ページの「Sun リソースへのオンラインアクセス」
- 9 ページの「Sun テクニカルサポートへの問い合わせ」
- 9 ページの「関連するサードパーティーの Web サイトの参照」
- 9 ページの「コメントの送付先」

対象読者

このマニュアルは、サイトで Mobile Access ソフトウェアの配備を担当する Portal Server 管理者またはシステム管理者を対象としています。

お読みになる前に

Mobile Access を管理する前に、次の概念に精通している必要があります。

- 基本的な Solaris™ の管理手順
- 基本的な UNIX® の管理手順
- LDAP (Lightweight Directory Access Protocol)
- モバイル環境およびボイス環境に対応するポータルコンテンツの作成に使用されるマークアップ言語 (HTML、cHTML、VoiceXML など)
- Solaris 8 オペレーティングシステム (SPARC® プラットフォーム版) または Solaris™ 9 オペレーティングシステム (SPARC® プラットフォーム版)、または Solaris™ オペレーティングシステム (x86 プラットフォーム版)
- Sun Java™ System Directory Server (旧称 Sun ONE Directory Server)

- Sun Java™ System Access Manager (旧称 Sun ONE Identity Server、および Sun Java System Identity Server)
- Sun Java™ System Portal Server 7
- Sun Java™ System Portal Server Secure Remote Access 7

使用する Web コンテナに応じて、次の 1 つ以上に精通している必要があります。

- Sun Java™ System Web Server (旧称 Sun ONE Web Server)
- Sun Java™ System Application Server
- BEA WebLogic Server™ 8.1 SP2/SP4
- IBM WebSphere® 5.1

このマニュアルの内容

このマニュアルは、次の章および付録で構成されています。

- [第 1 章](#)では、Mobile Access ソフトウェアの配備のロードマップを示します。
- [第 2 章](#)では、Mobile Access ソフトウェアの配備の設計に影響する組織のニーズや要件の分析方法について説明します。
- [第 3 章](#)には、モバイルポータル配備に役立つ計画ワークシートがあります。
- [第 4 章](#)には、Mobile Access ソフトウェアのためにインストールされるディレクトリ構造とプロパティファイルを示します。
- [第 5 章](#)には、Java Enterprise System 用語集のリストがあります。

このマニュアルには、用語集と索引もあります。

このマニュアルで使用する表記規則

このマニュアルでは、説明する情報の種類を示すためにいくつかの表記規則が使用されています。

モノスペースフォント

AaBbCc123 (モノスペースフォント) は、コンピュータの画面に表示されるテキストまたはユーザーが入力する必要のあるテキストを示します。モノスペースフォントは、ファイル名、識別名、関数、および用例にも使用されます。

太字のモノスペースフォント

AaBbCc123 (太字のモノスペースフォント) は、サンプルコードの中でユーザーが入力する必要のあるテキストを示します。たとえば、次の例のようになります。

```
./pssetup
```

```
*****
```

```
Sun(TM) ONE Portal Server
```

```
*****
```

```
Installation log at
```

```
/var/sadm/install/logs/ipsinstall.13343/install.log
```

```
This product will run without a license. However, you must either purchase a  
Binary Code License from, or accept the terms of a Binary Software Evaluation  
license with, Sun Microsystems, to legally use this product.
```

```
Do you accept? yes/[no]
```

この例では、**./pssetup** をコマンド行から入力する必要があります。その他の部分は、結果として表示されるテキストです。

イタリックフォント

AaBbCc123 (イタリックフォント) は、変数など、ユーザーがインストールに特有の情報を使用して入力するテキストを示します。これは、サーバーのパスと名前およびアカウント ID にも使用されます。

角括弧 (大括弧)

角括弧 (大括弧) [] は、オプションパラメータを囲むために使用されます。たとえば、Portal Server ソフトウェアのマニュアルでは、dpadmin コマンドを使用する場合は次のように表記されます。

```
dpadmin list|modify|add|remove [command-specific options]
```

[command-specific] の部分は、dpadmin コマンドにオプションパラメータを追加できることを示しています。

コマンド行プロンプト

コマンド行プロンプト (たとえば、C シェルの %、または Korn シェルもしくは Bourne シェルの \$) は、用例の中では表記されません。使用するオペレーティングシステム環境によって、異なるコマンド行プロンプトが表示されます。ただし、特に注意書きがなければ、マニュアルに記載されているとおりにコマンドを入力する必要があります。

関連マニュアル

Mobile Access には、このマニュアル以外にも、管理者向けの補足情報および開発者向けのマニュアルが用意されています。

Mobile Access のマニュアルはすべて、次の URL で参照できます。

<http://docs.sfbay/app/docs/coll/1303.1>

利用可能なマニュアルは次のとおりです。

- 『Sun Java™ System Portal Server Mobile Access 7.1 管理ガイド』
- 『Sun Java™ System Portal Server Mobile Access 7.1 Developer's Manual』
- 『Sun Java™ System Portal Server Mobile Access 7.1 Developer's Reference』
- 『Sun Java™ System Portal Server Mobile Access 7.1 Tag Library Reference』

Portal Server の他のマニュアル

Portal Server のマニュアルはすべて、次の URL で参照できます。

<http://docs.sfbay/app/docs/coll/1303.1>:

Portal Server の他のマニュアルは次のとおりです。

- 『Sun Java System Portal Server 7.1 配備計画ガイド』
- 『Sun Java System Portal Server 7.1 Desktop Customization Guide』
- 『Sun Java System Portal Server 7.1 Developer's Guide』
- 『Sun Java System Portal Server 7.1 管理ガイド』

Sun リソースへのオンラインアクセス

『Sun Java™ System Portal Server Mobile Access 7.1 配備計画ガイド』は、オンラインで PDF 形式と HTML 形式を参照できます。このマニュアルは次の URL にあります。

<http://docs.sun.com>

Sun テクニカルサポートへの問い合わせ

製品のマニュアルに回答が記載されていない技術的な質問については、<http://www.sun.com/service/contacting> を参照してください。

関連するサードパーティーの Web サイトの参照

Sun は、このマニュアルに記載されたサードパーティーの Web サイトの利用可能性について責任を負いません。Sun は、かかるサイトまたはリソースを通じて入手できるコンテンツ、広告、製品、およびその他のマテリアルを保証せず、その責任を負いません。Sun は、かかるサイトまたはリソースを通じて入手できるコンテンツ、商品、サービスなどの利用に起因する、あるいは起因したとされる損失または損害、またはその申し立てに対して責任を負いません。

コメントの送付先

弊社では、マニュアルの品質向上のために、お客様からのコメントおよび提案をお待ちしております。コメントをお送りいただく際は、次の URL にアクセスして「コメントの送信」をクリックしてください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

オンラインフォームでは、マニュアルのタイトルと Part No. をご記入ください。このマニュアルの Part No. は 820-1267 です。

マニュアル、サポート、およびトレーニング

Sun のサービス	URL	内容
マニュアル	http://jp.sun.com/documentation/	PDF 文書および HTML 文書をダウンロードできます。

Sunのサービス	URL	内容
サポートおよび トレーニング	http://jp.sun.com/supporttraining/	技術サポート、パッチのダウンロード、および Sun のトレーニングコース情報を提供します。

表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。 machine_name% you have mail.
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	machine_name% su Password:
<i>aabbcc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、rm <i>filename</i> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『コードマネージャー・ユーザーズガイド』を参照してください。
「 」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第 5 章「衝突の回避」を参照してください。 この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	sun% grep '^#define \

コード例は次のように表示されます。

■ C シェル

```
machine_name% command y|n [filename]
```

- C シェルのスーパーユーザー

```
machine_name# command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェル

```
$ command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェルのスーパーユーザー

```
# command y|n [filename]
```

[] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。

1

配備手順の開始

この章では、Sun Java™ System Portal Server Mobile Access 7.1 (旧称 Sun™ ONE Portal System, Mobile Access) ソフトウェアの配備のロードマップを示し、この製品の情報の参照先についても説明します。

この章は次の節から構成されています。

- 13 ページの「[Mobile Access ソフトウェアの機能](#)」
- 14 ページの「[配備のロードマップ](#)」
- 16 ページの「[製品の参照情報](#)」

Mobile Access ソフトウェアの機能

Mobile Access ソフトウェアは、ワイヤレス通信ネットワークにより、ユーザーが携帯電話や携帯情報端末 (PDA) などのワイヤレスデバイスでブラウザを使用して、コンテンツ、アプリケーション、サービスなどの Sun Java™ System Portal Server サイトのリソースにアクセスできるようにします。また、音声アクセスのフレームワークも提供します。

Mobile Access ソフトウェアは、Portal Server ソフトウェアのインストール時にインストールされます。Portal Server ソフトウェアと同様、Mobile Access ソフトウェアでも Sun Java™ System Identity Server 管理コンソールを使用して、モバイルサービスやユーザー、ポリシー、およびアクセス制御を管理します。Mobile Access 管理は、ほかのユーザーまたは同じ職種の管理者に委任できます。

Mobile Access ソフトウェアには、次の機能があります。

- HTTP または HTTPS を使用して LAN または WAN を介して携帯ネットワークまたはワイヤレスネットワークに接続されたモバイル機器をサポートします。
- 携帯電話、携帯情報端末 (PDA)、スマートホンなどのワイヤレスモバイル機器上に既存のポータルコンテンツを表示します。

- SunTM Microsystems、Microsoft、および Lotus の既存のメール、カレンダー、個人アドレス帳などの製品に統合できます。
- 音声認証、ナビゲーション、および VoiceXML で作成した音声アプリケーションの作成をサポートします。
- Nokia 6310i 電話用の JavaServer PagesTM (JSPTM) ソフトウェアテンプレートを提供します。
- モバイル機器の動的なパーソナライズおよびカスタマイズの機能を提供します。
- Portal Server ソフトウェアのプロバイダテンプレートとプロバイダ JSP テンプレート、また Mobile Access ソフトウェアアプリケーションの JSP 仕様を変更することによって、ユーザーインタフェースのルックアンドフィールのカスタマイズをサポートします。
- カスタム認証モジュールおよびカスタムコンテンツプロバイダの作成をサポートします。
- JavaTM Specification Request (JSR) 188 Composite Capability/Preference Profiles Processing (CC/PP) 実装を採用しています。これにより、デバイス独立の Web アプリケーションの開発が容易になります。
- Wireless Application Protocol (WAP) 2.0 仕様の User Agent Profile (UAProf) と Extensible HyperText Markup Language (XHTML) をサポートします。
- Sun JavaTM System Portal Server Secure Remote Access ゲートウェイ経由のコンテンツおよびアプリケーションの配信をサポートします。

配備のロードマップ

この節では、Mobile Access ソフトウェアの配備に必要なさまざまなコンポーネントを設計、インストール、および使用するために必要な手順全体を示します。手順の各段階の責任者は変わります。

配備の担当者は、ポータルサイトを管理、開発、および使用するために Mobile Access ソフトウェアとやり取りします。時には、これらの各段階が重なり合う場合があります。たとえば、開発者は Mobile Access 製品 API と Identity Server 管理コンソールの両方を使用して、可用性、コンテンツ、ポータルサイトおよびそのプロバイダのレイアウトをカスタマイズおよび設定することがあります。手順の各段階の担当者は変わります。

この節では次のトピックについて説明します。

- 15 ページの「[配備のアーキテクチャーと設計](#)」
- 15 ページの「[コンポーネントソフトウェアのインストールと設定](#)」
- 15 ページの「[コンポーネントのパフォーマンスチューニング](#)」
- 16 ページの「[Mobile Access ソフトウェアの設定](#)」

配備のアーキテクチャーと設計

- 配備する各コンポーネントを特定し、それぞれのバージョンを指定します。
- コンポーネントのアーキテクチャーを確立します。
- アンインストールおよびバックアウト手順の文書を作成し、検証方法を示します。
- 配備のアクセス要件、ポート、および各コンポーネント間のプロトコルを確認します。

Portal Server ソフトウェアの配備については、『Sun Java™ System Portal Server 7 配備計画ガイド』を参照してください。

インストールに含まれるその他のコンポーネントの配備については、それらの製品の配備マニュアルを参照してください。

コンポーネントソフトウェアのインストールと設定

- ソフトウェアコンポーネントをインストールします。
- 該当するマニュアルの指示に従って、ソフトウェアコンポーネントを設定します。
- 配備に含めるシングルサインオンアダプタなどのほかの要素の設定作業を完了します。

Sun Java Enterprise System コンポーネントのインストールについては、『Sun Java™ Enterprise System インストールガイド』を参照してください。

コンポーネントのパフォーマンスチューニング

- 次のソフトウェアをチューニングします。
 - Directory Server
Directory Server のチューニングについては、『Sun Java™ System Directory Server 5 Performance and Tuning Guide』を参照してください。
 - 提供するアプリケーション用のバックエンドサーバー。
配備するコンポーネントのパフォーマンスチューニングについては、該当する製品のマニュアルを参照してください。たとえば、Sun Java™ System Calendar Server ソフトウェアを使用する場合は、『Sun Java™ System Calendar Server 7 管理ガイド』の付録 C を参照してください。

ポータルサービスを調整します。

Portal Server ソフトウェアのパフォーマンスチューニングについては、『Sun Java™ System Portal Server 7 配備計画ガイド』の第 8 章を参照してください。

Mobile Access ソフトウェアの設定

- モバイルメール、カレンダー、およびアドレス帳のチャンネルを設定します。
手順については、『Sun Java™ System Portal Server Mobile Access 7 管理ガイド』の第 5 章「モバイルアプリケーションの設定」を参照してください。
- モバイルポータルデスクトップで提供するその他のチャンネルを設定します。
手順については、『Sun Java™ System Portal Server Mobile Access 7 管理ガイド』の第 4 章「モバイルポータルデスクトップの管理」を参照してください。
- JSPNative Container および JSPRendering Container に対する適切なチャンネルが「コンテンツページでエンドユーザーが使用可能」リストおよび「ポータルデスクトップで表示可能」リストに表示されることを確認します。
手順については、『Sun Java™ System Portal Server Mobile Access 7 管理ガイド』の第 4 章「モバイルポータルデスクトップの管理」を参照してください。
- インストールでサブドメインを使用する場合は、適切な Cookie をクッキードメインリストに追加します。
詳細については、『Sun Java™ System Identity Server Administration Guide』の第 33 章「Platform Service Attributes」を参照してください。
- メールおよびカレンダーのバックエンドサーバーで http.ipsecurity を無効にします。
使用している特定のサーバーのマニュアルを参照してください。
- 必要に応じて、シングルサインオンアダプタのテンプレートを設定します。
手順については、『Sun Java™ System Portal Server 7 管理ガイド』の付録 H「SSO アダプタテンプレートと設定」と第 12 章「通信チャンネルの設定」を参照してください。
- 必要に応じて、管理者のプロキシ認証を有効にし設定します。手順については、『Sun Java™ System Portal Server 7 管理ガイド』の第 12 章「通信チャンネルの設定」を参照してください。
- モバイルデバイスのコンテンツとレイアウトを設定します。
手順については、『Sun Java™ System Portal Server Mobile Access 7 管理ガイド』の第 4 章「モバイルポータルデスクトップの管理」を参照してください。

製品の参照情報

この節では、Mobile Access 製品の管理、カスタマイズ、および開発で担当する特定の役割を支援するための参照情報を提供します。次のトピックについて説明します。

- [17 ページの「インストールリソース」](#)
- [17 ページの「管理リソース」](#)

■ 17 ページの「開発リソース」

注- 製品のリリースノートの最新版は、<http://docs.sun.com>にあります。この節に示すマニュアルを使用することに加えて、最新のリリースノートを参照するためにはこの Web サイトを定期的に確認してください。

インストールリソース

『Sun Java™ Enterprise System 2005Q4 インストールガイド』は、次の URL からオンラインで利用できます。

<http://docs.sun.com>

管理リソース

『Sun Java™ System Portal Server Mobile Access 7 管理ガイド』は、次の URL からオンラインで利用できます。

Mobile Access ソフトウェアが使用する Access Manager 製品とその管理コンソールを理解するための情報は、オンラインで次の URL から利用できます。

<http://docs.sun.com>

『Sun Java™ System Portal Server 7 管理ガイド』は、次の URL からオンラインで利用できます。

<http://docs.sun.com>

開発リソース

『Sun Java™ System Portal Server Mobile Access 7 Developer's Guide』は、次の URL からオンラインで利用できます。

<http://docs.sun.com/doc/819-5313>

『Sun Java™ System Portal Server Mobile Access 7 Tag Library Reference』は、次の URL からオンラインで利用できます。

<http://docs.sun.com/doc/819-5316>

Sun Java™ System Portal Server Mobile Access 7 Javadoc™ ツールは、Portal Server ソフトウェアがインストールされたサーバー上の `http://hostname:port/portal/javadocs/ma` から Mobile Access ソフトウェアと共に入手できます。

ヒント – Sun Java Enterprise System ソフトウェアのその他のすべてのマニュアルは、オンラインで次の URL から利用できます。

<http://docs.sun.com>

Mobile Access ソフトウェアと使用するその他の Sun 製品については、次の URL にある製品およびマニュアルの情報を参照してください。

<http://www.sun.com>

Mobile Access 要件の分析

この章では、Mobile Access のソフトウェア配備の設計に影響する組織のニーズや要件の分析方法について説明します。

この章は次の節から構成されています。

- 19 ページの「業務および技術上の要件の確認と評価」
- 24 ページの「業務のニーズへのモバイルポータル機能の対応付け」

業務および技術上の要件の確認と評価

Mobile Access の業務および技術上の要件を確認し分析するには、高い視点からニーズを検討します。

このトピックには、配備計画の手引きになる次の領域の質問が用意されています。

- 20 ページの「業務上の目的」
- 20 ページの「技術上の目標」
- 21 ページの「ユーザーの行動様式」
- 21 ページの「パフォーマンスと能力」
- 22 ページの「フロントエンドシステム」
- 22 ページの「成長の予測」
- 22 ページの「認証と安全なアクセス」
- 23 ページの「チャネル」
- 23 ページの「品質目標」

これらの領域の質問の一部は、使用するモバイルポータルの設計に該当しない場合があります。またここでとりあげていない問題を特定し対処する必要がある場合もあります。

業務上の目的

モバイルアクセスを提供する業務上の目標は、配備の決定に影響します。目的を理解していないと、配備の成功に影響する誤った想定をしやすくなります。

次の質問は、業務上の目的の確認に役立ちます。

- ポータルにモバイルアクセスを提供する業務上の目標は何か？たとえば、顧客サービスを向上させる必要があるか、従業員の生産性を上げるか、経費を削減するかなどが挙げられます。
- ポータルに音声アクセスを提供する業務上の目標は？
- 対象者は？
- モバイルポータルがユーザーに提供するサービスまたは機能は？
- モバイルアクセスにより対象者が受ける恩恵は？
- モバイルアクセスを提供するための主な優先順位は？何段階かに分けてモバイルポータルを配備する計画である場合は、各段階の主な優先順位を示します。

技術上の目標

ポータルにモバイルアクセスを提供する理由は、配備計画に直接影響します。対象者、パフォーマンスの基準、および目標に関連するその他の要素を定義する必要があります。

次の質問は、モバイルポータルの目標の確認に役立ちます。

- モバイルアクセスを提供する目標は？たとえば、サービスを配信する必要があるか、情報を提供する必要があるかなどが挙げられます。
- モバイルポータルが配信するアプリケーションは？
- 対象者は？
- 必要なパフォーマンスの基準は？ポータルのパフォーマンスとは異なるか？
- 予測されるトランザクションの量は？予測されるピーク時のトランザクション量は？
- ピーク時に許容できる応答時間は？
- 必要な並行性のレベル、つまり同時に接続できるユーザーの数は？
- モバイルポータルを1回で配備するか、またはいくつかの段階に分けて配備するか？各段階について説明し、段階ごとに何が変わるのかを説明します。

ユーザーの行動様式

モバイルポータルを使用するユーザーを調査します。ユーザーがいつモバイル機器を使用してポータルにアクセスするか、またユーザーがどのように前のアクセス方法を使用してきたかなどの要素を考慮します。所属組織の経験だけではユーザーの行動様式がわからない場合は、他の組織の経験を調査して、行動様式を予測します。

次の質問は、モバイルユーザーに関する理解に役立ちます。

- 時間の経過とともにモバイルポータルの利用が増加するか？あるいは変わらないか？
- モバイルユーザー数の増加の速さは？
- モバイルポータルが提供するアプリケーションをユーザーがどのように使用してきたか？
- ユーザーがどのモバイルポータルチャネルを定期的に使用すると予測するか？
- モバイルポータルコンテンツに対してユーザーがどのような期待をしているか？モバイルポータルが提供する前の Web ベースの情報またはその他のリソースをユーザーがどのように使用してきたか？

パフォーマンスと能力

ポータルが提供する必要があるパフォーマンスは、配備要件に直接影響します。拡張性、能力、および可用性は、検討する必要がある基準の一部です。

次の質問は、ポータルのパフォーマンスの要件の評価に役立ちます。

- パフォーマンスの要件にはどのようなものがあるのか？
- 高可用性の要件にはどのようなものがあるのか？
- 許容できる応答時間は？スタンドアロンシステムの応答時間は、ポータルの応答時間の要件と比較してどうか？
- 通常的时间帯の応答時間が良くなるようにポータルのインフラストラクチャーのサイズを決定した場合は、負荷のピーク時にパフォーマンスの低下に耐えられるか？
- ピーク時の並行セッション、つまり接続されるユーザーの数はどの程度になると予測するか？(アクティブであるユーザーのみを数える。休暇中や就寝中のユーザーなどは数えない)
- 通常のピーク時より上とは？この情報がピーク時の並行ユーザーの予測にどのような影響を与えるか？
- ピーク時のユーザーの行動は？ログインか、または再ロードか？

- 典型的なユーザーが接続する期間、または有効なポータルセッションをオープンしている期間をどの程度と予測するか？既存のアプリケーションに対するどのような使用統計があるか？既存のポータルに対する Web トラフィック分析結果の数字があるか？

フロントエンドシステム

ユーザーがモバイルポータルのアクセスに使用するフロントエンドシステムを分析します。これにより、ユーザーがポータルに接続する方法や使用するブラウザの種類を確認できます。それらの要素は、配備の決定に影響します。

次の質問は、フロントエンドシステムを理解するのに役立ちます。

- モバイルユーザーがポータルにアクセスする方法は？モバイルユーザーが使用するデバイスのタイプは？
- モバイルユーザーが使用するブラウザの機能は？ユーザーが Java™ アプリケーションを使用しているか？JavaScript™ テクノロジーが有効になっているか？Cookie のサポートが有効になっているか？テーブルはサポートされているか？
- 音声アクセスが必要か？

成長の予測

現在必要な能力を決定することに加えて、計画可能な範囲で将来必要な能力を査定します。成長の予測とポータルの使われ方の変化は、成長に適応するために考慮する必要がある要素です。

次の質問は、モバイルポータルの成長を予測するのに役立ちます。

- ポータルの成長の予測は？成長の速さは？
- モバイルポータルを利用できる場所は？利用できる国でのモバイル機器の使用傾向は？
- 今後 2 年または 3 年の間に業務の目的がどのように変化するか？
- 将来のコンテンツに対する計画は？

認証と安全なアクセス

モバイルポータルにセキュリティーが必要であるかどうか判断します。必要な場合は、どのようなセキュリティーが適当かを査定する必要があります。

次の質問は、モバイルポータルのセキュリティー要件の確認に役立ちます。

- ポータルに対する認証に SSL が必要か？
- ポータルのその他の部分に SSL が必要か？

- ゲートウェイが必要か？
- どのようなセキュリティポリシーがあるか？
- ポータルにシングルサインオンを提供するために Identity Server ソフトウェアを使用するか？シングルサインオンの要件は、モバイルアクセスの場合に変わるか？モバイルポータルのユーザーが自動的にサインオンできる必要があるか？

チャネル

ポータルサイトが提供するチャネルは、配備の決定に影響します。定義する要素としては、ユーザーがチャネルやチャネルのコンテンツを使用するためにモバイル機器をどのように使用するかなどがあります。

次の質問は、モバイルポータルのチャネルの要件の査定に役立ちます。

- モバイル機器のユーザーに提供するチャネルの数はどのぐらいになるか？
- モバイルユーザーがどのポータルチャネルを定期的に使用すると予測するか？
- 新しいコンテンツを提供するか、または既存のコンテンツを再利用するか？

品質目標

Mobile Access ソフトウェアの配備の品質目標を確認し設定するには、モバイルポータルが提供する必要がある品質がどのような方法によって可能になるかを検討します。

次の質問は、モバイルポータルの品質目標を設定するのに役立ちます。

- すべての既存の Portal Server ソフトウェアのユーザーに、12ヶ月間などの特定の期間だけポータルへのモバイルアクセスを提供するか？
- 実際の稼動環境を複製するテスト環境に対する計画を完了したか？
- 単体テスト、機能テスト、機器間テスト、ユーザー受け入れテストなどのさまざまなテスト段階にどの程度の時間が必要か？
- サポート予定の各モバイル機器をテストするのか？
- モバイルポータルの配備時に既存のモバイルポータルサービスを維持する必要があるか？
- パフォーマンスおよび信頼性に対する期待は？実際の稼動環境に移行する際に追跡できるベースライン測定値を設定したか？
- さまざまなモバイル機器に対するユーザーインターフェースの基準は？
- テスト環境から実際の稼動環境への移行期間に完全に機能するネットワークインフラストラクチャーを維持できるか？

- さまざまなサービスレイヤーで、冗長ポータルサーバー、ゲートウェイ、およびディレクトリの複製とマスターなどを含むアーキテクチャーを開発することによってポータルシステムのシングルポイントの障害を排除できるか？
- どのような変更管理手順に従うか？

業務のニーズへのモバイルポータル機能の対応付け

この節では、組織に最も重要な技術を判断する際に役立つように、Mobile Access の特定の技術の機能について説明します。組織の短期、中期、および長期の計画を念頭において、それらの機能をよく確認します。

適時、費用効果のある方法で配備計画を立てるのを支援するために、このトピックでは次の機能について説明します。

- [24 ページの「動的レンダリングエンジン」](#)
- [24 ページの「VoiceXML のサポート」](#)
- [25 ページの「JSR 188 \(CC/PP\)」](#)、[25 ページの「安全なりモートアクセス」](#)
- [25 ページの「安全なりモートアクセス」](#)

動的レンダリングエンジン

Mobile Access ソフトウェアの動的レンダリングエンジンは、コンテンツ、アプリケーション、およびサービスを正しいマークアップ言語でモバイル機器に配信可能にします。サポートするマークアップ言語は、XHTML、cHTML、HDML、HTML、および WML です。

動的レンダリングエンジンは、マルチデバイス配備を実現可能にします。

VoiceXML のサポート

Mobile Access ソフトウェアは、VoiceXML アプリケーションの配備に必要なフレームワークを提供します。VoiceXML アプリケーションは、固定電話またはモバイル電話のいずれかを使用するユーザーに対して配備できます。

電子メールやカレンダーなどの音声対応企業アプリケーションは、企業の情報およびコンテンツを再利用する有用な方法です。Sun 以外のベンダーが提供するさまざまな音声エンジンや開発者向けツールを Mobile Access ソフトウェアと使用できます。

JSR 188 (CC/PP)

Mobile Access ソフトウェアは、Composite Capability and Preference Profiles (CC/PP) 仕様を実装しています。Portal Server ソフトウェアはこの実装を使用して、コンテンツを適合し、それに応じて動作を適合するチャンネルへ配信コンテキスト情報を渡すことができます。

この仕様は、コンテキストネゴシエーションを配信するほとんどの Web アクセスメカニズムと互換性がある配信コンテキスト情報を処理する、標準の API セットを開発者に提供します。

多数の Web アクセスメカニズムへコンテンツを配信できる、デバイスに依存しないコードを作成すると、コストを削減でき、独自仕様や互換性がない可能性のある実装の普及を防止するのに役立ちます。

安全なリモートアクセス

Mobile Access 製品は、Sun Java™ System Portal Server Secure Remote Access ソフトウェアをサポートします。このソフトウェアは、プロキシ、URL リライタ、VPN オンデマンド機能を提供します。Secure Remote Access ゲートウェイは、企業ファイアウォールの前の DMZ 内に設置され、ファイアウォールの背後にあるリソースへの外部からの接続に対してセキュリティを提供します。

ゲートウェイは、コンテンツおよびアプリケーションにプロキシサーバーと URL 書き直し機能を提供します。URL の難読化もサポートします。

Mobile Portal 評価ワークシート

この付録は、モバイルポータルの配備作業を支援する計画ワークシートを提供します。

この付録は次の節から構成されています。

- 27 ページの「業務上の目的」
- 28 ページの「技術上の目標」
- 28 ページの「ユーザーの行動様式」
- 29 ページの「パフォーマンスと能力」
- 29 ページの「フロントエンドシステム」
- 30 ページの「成長の予測」
- 30 ページの「認証と安全なアクセス」
- 31 ページの「チャンネル」
- 31 ページの「品質目標」

質問は、出発点として提供されています。これらを使用して、組織の業務のニーズとモバイルポータルを配備する際に考慮すべき事項を特定できます。

業務上の目的

確認を行い、自分の状況に該当する答えを詳しく述べます。

- モバイルポータルが必要な業務上の理由を特定します。
 - 情報へのアクセスを容易にする
 - 情報へのアクセス速度を向上する
 - ポータルを使用できるユーザーのタイプを広げる
 - ユーザーの使用体験を向上する
 - 新しいサービスを提供する
 - その他

次のどのポータルユーザーにモバイルアクセスを許すかを定義します。

- すべてのポータルユーザー
- 現場の従業員 (たとえば、PDA 対応アプリケーションを使用する)
- その他のカテゴリのユーザー

次のどのポータルユーザーに音声アクセスを許すかを定義します。

- すべてのポータルユーザー
- 視覚インタフェースを使用できないユーザー
- その他のカテゴリのユーザー

技術上の目標

確認を行い、自分の状況に該当する答えを詳しく述べます。

- ポータルへのモバイルアクセスを可能にする理由を示します。
 - サービスを配信する
 - 情報を提供する
 - 現場の従業員がポータルにアクセスできるようにする
 - ユーザーの時間を節約する

対象の人々を記述します。

- 提供するアプリケーションと提供する理由を列挙します。
- チャートで計画したトランザクションの量 (ピーク時を含む) と並行性のレベル
- ユーザーがモバイルポータルにアクセスする方法を特定します。
 - 公衆回線
 - WiFi (ワイヤレス LAN)
 - モバイルメッセージングデバイス
 - WAP 対応携帯電話
 - General packet radio service (GPRS)

WAP ゲートウェイの規格と要件を示します。

- モバイルポータルを配備するのに使用する段階を記述します。

ユーザーの行動様式

確認を行い、自分の状況に該当する答えを詳しく述べます。

- ユーザープロファイルを定義します。
- モバイルポータルユーザーとその他のポータルユーザーの違いを記述します。
- モバイルポータルユーザーがモバイル機器を使用して体験できることを記述します。
 - 時期指定 (プロファイルを提供し、使用の程度を定義)

- 初心者(プロフィールを提供し、使用の程度を定義)

モバイルユーザーの成長予測のチャートを作成します。

- 当面
- 中期
- 長期

モバイルポータルが提供するコンテンツを特定します。

- 既存
- 新規

ユーザーがモバイルポータルを使用する理由を記述し、ユーザーが同じコンテンツを以前にどのように使用したかを特定します。

パフォーマンスと能力

確認を行い、自分の状況に該当する答えを詳しく述べます。

- 次のものに対する要件を特定します。
 - パフォーマンス
 - 高可用性
 - 応答時間

要件がピーク期に適しているかどうかを検討します。

- ユーザーの活動と活動の変動を特定します。
- ユーザーの接続およびWebトラフィックに関する既存のデータを分析します。

フロントエンドシステム

確認を行い、自分の状況に該当する答えを詳しく述べます。

- サポートするモバイル機器を示します。
 - 携帯電話(メーカーおよびモデル)
 - PDA(メーカーおよびモデル)

サポートするブラウザおよびバージョンを示します。

- HDML
- HTML
- cHTML
- iHTML
- XHTML
- VoiceXML

- WML
- JHTML

提供するアプリケーションを示します。

成長の予測

確認を行い、自分の状況に該当する答えを詳しく述べます。

- ユーザーの居住国を指定します。
- モバイルアクセスがポータルとそのコンテンツの用途をどのように変えるかを示します。
 - 用途を増やす(どのように、またどの程度)
 - 用途を変える(どのように、またどの程度)

モバイルアクセスが業務の目的にどのように影響するかを示します。

- ポータルへのモバイルアクセスがどのようにコンテンツに影響するかを研究し、必要な変更がある場合は、どのような変更かを示します。

認証と安全なアクセス

確認を行い、自分の状況に該当する答えを詳しく述べます。

- 認証と暗号化ポリシーを記述します。
- ゲートウェイが必要な理由を記述します。
- SSLを使用すべき時を示します。
 - 認証
 - 特定のチャネルへのアクセス
 - その他

シングルサインオンの要件が、モバイルアクセスの場合に変わるかどうかを示します。

- 使用するアプリケーションの認証および暗号の懸念事項を特定します。

チャネル

確認を行い、自分の状況に該当する答えを詳しく述べます。

- モバイルポータルが提供するものと HTML ベースのポータルが提供するものがどのように異なるかを示します。
- 既存のポータルコンテンツを確認し、モバイルポータルが提供するコンテンツを示します。
 - 既存
 - 新規

どのコンテンツを更新する (短縮するか再編成する) 必要があるかを示します。

品質目標

確認を行い、自分の状況に該当する答えを詳しく述べます。

- ポータルにモバイルアクセスをどのように提供するのかを、期限も含めて、計画を立てます。
- 配備が滞りなく進行するように適用できる処置を示します。
 - テスト
 - 既存のサービスの保守
 - 冗長性

ベースラインのパフォーマンスと信頼性の測定値を定義します。

- テストするモバイル機器を示します。
- 変更管理手順を示します。

ディレクトリ構造と設定ファイル

Mobile Access ソフトウェアのためにプラットフォーム固有のディレクトリ構造とプロパティファイルがインストールされます。それらには、設定およびオペレーショナルデータが格納されます。この付録では、次のものについての情報を提供します。

- [33 ページの「ディレクトリ構造」](#)
- [35 ページの「設定ファイル」](#)

ディレクトリ構造

Mobile Access ソフトウェアのためにインストールされるプラットフォーム固有のディレクトリ構造は、アプリケーションの JSP テンプレートファイルおよび音声ファイルのためのものです。ディレクトリ構造には、次のものがあります。

- アプリケーション JSP/テンプレート

`/portal-server-installation-root/SUNWps/web-src/jsp/default`

- 音声プロンプトオーディオファイル

`/web-server-installation-root/docs/voice`

- AML/VoiceXML/WML の JSP の認証仕様

`/identity-server-installation-root/SUNWam/web-src/services/config/auth/`

- 音声対応プロバイダ用の文法ファイル

`/portal-server-installation-root/SUNWps/web-src/jsp/default/channel_name
/vxml/Nuance/grammars/`

Mobile Access ソフトウェアは、次の Portal Server ソフトウェアディレクトリも使用します。

- デフォルトのインストールディレクトリ

/portal-server-installation-root/opt/SUNWps

- 設定情報用のデフォルトのインストールディレクトリ

/portal-server-installation-root/opt/SUNWps

- SDK 用のデフォルトのインストールディレクトリ

/portal-server-installation-root/SUNWps/sdk

- 一時ファイル

/usr/tmp

- ログファイル

/var/opt/SUNWam/logs

- コンテナとチャネル表示プロファイル

/portal-server-installation-root/SUNWps/samples/desktop/dp-org.xml

- プロバイダ表示プロファイル

/portal-server-installation-root/SUNWps/samples/desktop/dp-providers.xml

- HTML テンプレートファイル

/etc/opt/SUNWps/desktop/default/channel_or_provider_name.template

- JSP テンプレートファイル

/etc/opt/SUNWps/desktop/default/JSPchannelname

- コマンドラインユーティリティー

/portal-server-installation-root/SUNWps/bin/

- タグライブラリ定義

/etc/opt/SUNWps/desktop/default/tld/.tld*

- 表示プロファイル DTD

/etc/opt/SUNWps/dtd/psdp.dtd

- Java プロパティファイル

/portal-server-installation-root/SUNWma/locale

設定ファイル

Mobile Access ソフトウェアは2つの設定ファイルを使用します。それらのファイルとデフォルトの場所を次に示します。

- `/etc/opt/SUNWma/config.properties`
`config.properties` ファイルは、共通のコンポーネントとしてインストールされ、Portal Server ソフトウェアおよび Identity Server ソフトウェアが使用するプロパティが含まれています。
- `/etc/opt/SUNWps/MAConfig.properties`
`MAConfig.properties` は、Portal Server ソフトウェアのコンポーネントとしてインストールされ、Portal Server ソフトウェア固有のプロパティが含まれています。

用語集

この章では、用語集のリストに関する情報を提供します。

参照情報

このマニュアルセットで使用されている用語の完全な一覧は、『Java Enterprise System 用語集』 <http://www.docs.sun.com> を参照してください。

索引

A

API, 25

C

CC/PP 仕様, 25

Composite Capability and Preference Profiles 仕様, 25

I

Identity Server ソフトウェア

管理コンソール, 13

設定, 16

J

JSP テンプレートファイル, 33

M

Mobile Access ソフトウェア

インストール, 13

機能, 13

設定, 16

Mobile Access ソフトウェアのインストール, 13

S

Secure Remote Access ソフトウェア, 25

Sun Java System Identity Server ソフトウェア

管理コンソール, 13

設定, 16

V

VoiceXML, 24

あ

アーキテクチャー, 15

お

音声ファイル, 33

か

管理コンソール, 13

き

技術上の目標, 20

機能、Mobile Access ソフトウェア, 13

業務上の目的, 20, 27-28

け

計画

- 技術上の目標, 20, 28
- 業務上の目的, 20, 27-28
- 成長の予測, 22, 30
- セキュリティ, 30
- チャンネル, 23, 31
- 認証, 22
- パフォーマンスと能力, 21, 29
- 品質目標, 23, 31
- フロントエンドシステム, 22, 29
- ユーザーの行動, 21
- ユーザーの行動様式, 28
- ワークシート, 27

ゲートウェイ, 25

こ

コンポーネントソフトウェア

- インストール, 15
- 設定, 15
- パフォーマンスチューニング, 15

さ

参照情報, 16-18

せ

成長の予測, 22
設計, 15

ち

チェックリスト

- 技術上の目標, 28
- 業務上の目的, 27-28
- 成長の予測, 30
- チャンネル, 31
- パフォーマンスと能力, 29
- 品質目標, 31

チェックリスト (続き)

- フロントエンドシステム, 29
- ユーザーの行動様式, 28

チャンネル, 31
チャンネルの分析, 23
チューニング, コンポーネントソフトウェアのパフォーマンス, 15

て

ディレクトリ構造, 33
ディレクトリ、プラットフォーム固有の, 33
テンプレート
Nokia 6310i 電話, 14
Portal Server ソフトウェアのプロバイダ, 14
シングルサインオンアダプタ, 16
ファイル, 33

に

認証, 22

は

配備

- アーキテクチャー, 15
- 計画, 27
- コンポーネントソフトウェア, 15
- 設計, 15
- チェックリスト, 27
- 要件の分析, 19
- ワークシート, 27

パフォーマンスチューニング、コンポーネントソフトウェア, 15
パフォーマンスと能力, 21

ひ

品質目標, 23

ふ

フロントエンドシステム, 22

も

目標の設定

技術上の, 20

業務上の, 20

成長の予測, 22

チャネル, 23

認証, 22

パフォーマンスと能力, 21

品質, 23

フロントエンドシステム, 22

ユーザーの行動, 21

ユーザーの様式, 21

れ

レンダリングエンジン, 24

わ

ワークシート

技術上の目標, 28

業務上の目的, 27-28

成長の予測, 30

チャネル, 31

配備計画, 27

パフォーマンスと能力, 29

品質目標, 31

フロントエンドシステム, 29

ユーザーの行動様式, 28

ゆ

ユーザーの行動, 21

よ

要件

技術上の目標, 20

業務上の目的, 20

業務のニーズ, 24

成長の予測, 22

チャネル, 23

認証, 22

パフォーマンスと能力, 21

品質目標, 23

フロントエンドシステム, 22

ユーザーの行動, 21

用語集, 37

り

リモートアクセス, 25

